



JR三ノ宮周辺の被災状況
(昭和13年阪神大水害)



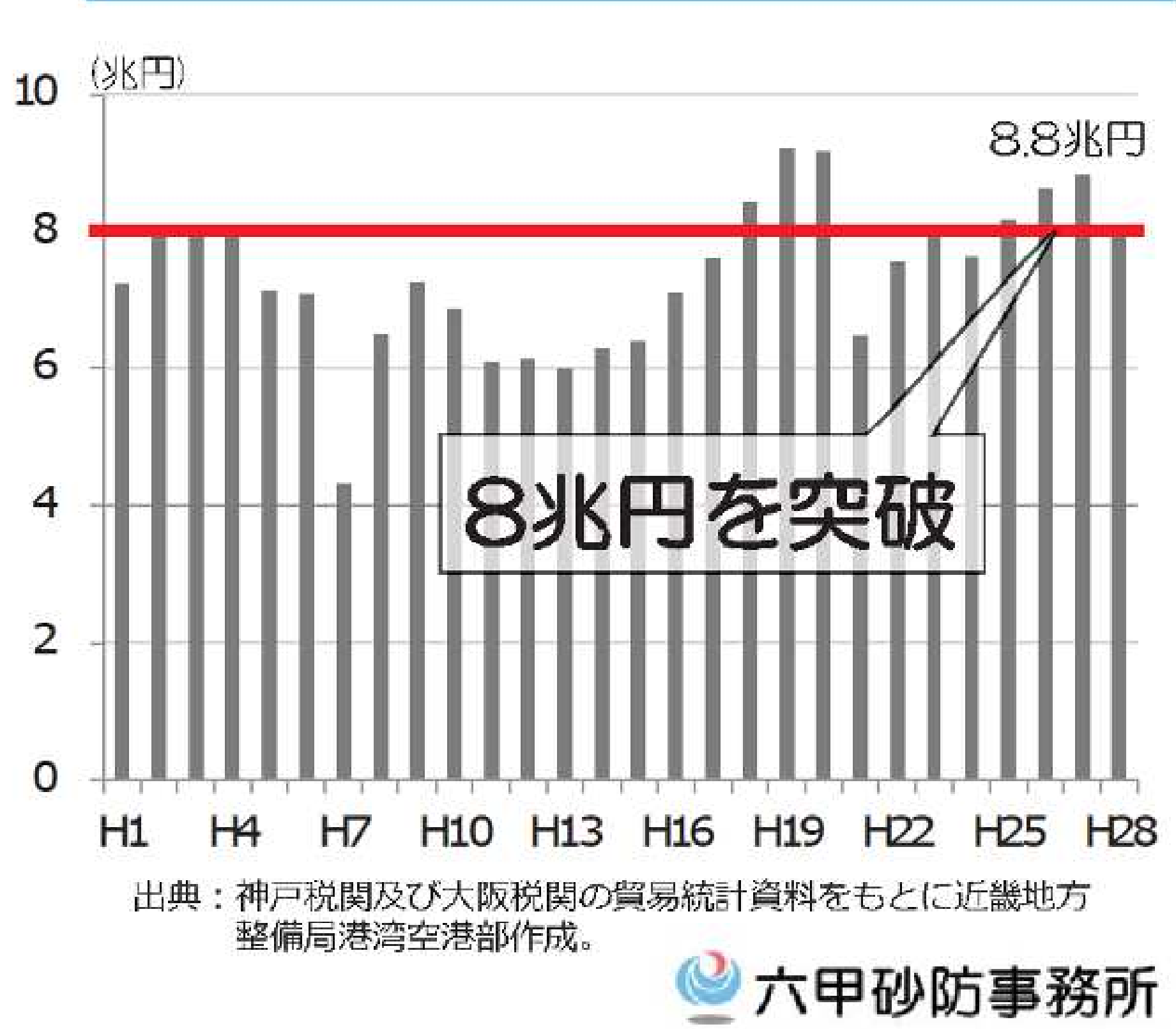
昭和42年7月豪雨災害の際に
約12万m³の土砂を捕捉した五助堰堤
(S32年完成)



整備効果

- 砂防堰堤により、市街地や鉄道・道路等の**重要な交通網を保全**
- 貿易額8兆円**を超える神戸港を始め、阪神間の**経済発展に寄与**

神戸港の貿易額の推移



六甲砂防事務所

砂防施設の効果

平成30年7月豪雨では、神戸市灘区六甲山町及び須磨区西須磨で砂防堰堤が崩壊した土砂や流木を補足し、下流への被害を未然に防止しました。

三の谷1号堰堤(三の谷川)



約500m³の土砂を補足

水晶谷第四堰堤(住吉川)



約4,600m³の土砂を補足

過去の災害との比較

